

12/21講演会

「蔦屋重三郎時代の江戸文芸・文化」

法政大学文学部教授の小林ふみ子先生をお招きし、蔦屋重三郎が牽引した出版文化、当時大流行した狂歌、戯作、浮世絵などの江戸文芸についてお話しいただきました。18世紀後半の江戸を彩った文化と文芸に触れ、遊び心や奥深さを感じられる楽しいご講演でした。



2/17開催報告

中央図書館 ハンディキャップイベント

当初、「はじめてのハンディキャップサービス利用説明会」を企画していましたが、内容を変更し、図書館の利用者・ボランティア・職員三者での座談会を実施しました。サービスの課題やボランティア活動の魅力、サービス利用体験について幅広い意見交換ができました。利用者からは対面朗読の魅力や楽しさが伝わる熱い声が寄せられ、ボランティア活動の意義も再確認でき、今後のサービス向上につながる有意義な場となりました。



有意義な場となりました。

中央図書館

予約の多い児童書コーナー「ぶっくんのたな」できました！

予約がいっぱいですぐに借りられない本を、中央図書館3階「おはなしのへや」の「ぶっくんのたな」に集めました。ぜひ読みに来てくださいね！
※貸出はできません。中央図書館の中でのみ、読むことができます。



最新号配布中

『こども府中はかせ 府中の坂』

子ども向けに、府中についてわかりやすく説明した冊子『こども府中はかせ』を毎年作成しています。このたび、最新号「府中の坂」を発行しました。バックナンバーは図書館ホームページの「こどものページ」からご覧いただくことができます。二次元コードで読み取って、『こども府中はかせ』をお楽しみください。



府中市 図書館 だより

第76号

令和8年3月31日号
発行 府中市立図書館

中央図書館 「ハンディキャップサービス」を ご紹介します！

すべての人が読書を楽しめるように、2019年に「読書バリアフリー法」が成立しました。通常の活字による読書や、図書館に来ることが難しい方向けにサービスを行っています。

こんな棚があります！

りんごの棚(3階 児童室)

子どもたちがふれて楽しめる布の絵本やさわる絵本、子ども向け点字絵本、大活字本などをご用意しています。棚に並んでいない資料もあるので、ご興味のある方はカウンター職員にお声がけください。



ハンディキャップ 資料コーナー(3階)

大きい文字で書かれた大活字本や本の内容を音声化した録音図書、点字図書など、通常の読書が難しい方のための資料をご用意しています。
※録音図書を利用するには、ハンディキャップサービスの登録が必要です。



サービス色々！

郵送貸出

視覚障害者の方を対象に、録音図書と点字図書を無料で郵送するサービスです。当館に所蔵のない録音・点字図書でも、全国の図書館から取り寄せてご用意します。

のサービスのご利用には利用登録が必要です。詳しくはホームページまたは担当までお問合せください。

宅配

図書館に来ることが難しい方対象に、図書館資料を2週間に1回、お住まいの場所までお届けします。

対面朗読

通常の読書が難しい方を対象に、ボランティアが本を読み上げるサービスです。図書館の本だけでなく、ご持参の資料やカタログなどもお読みしますので、ご相談ください。



対面朗読室

中央図書館の行事予定

★の催しは予約制です

- 4月 8日(水)～5月17日(日) 読書キャンペーン
「たびたびよんで本のたび～しゅっぱつしんこう!!」
19日(日) おはなしいっぱいのお会
図書館ガイドツアー★
- 5月 16日(土) 本の病院★
- 6月 21日(日) 図書館ガイドツアー★

検索レスキューのお知らせ

館内の検索機(OPAC)のご案内です。検索機は資料探しに欠かせません。触ったことのない方でも大丈夫！入力のコツなど、質問内容に合わせて丁寧に案内いたします。
毎週水曜日と最終週の日曜日、午後2時から3時半の間に、3階総合カウンターまでお越しください。
※この日時以外でも、お気軽にお近くのスタッフまでお声がけください。

掲示板

■休館のお知らせ

▽蔵書点検のため、次の日程で休館します。

	館名	日程
6月	生涯学習センター	17日(水)～19日(金)

お問合せ

府中市立中央図書館
〒183-0055 府中市府中町2-24
TEL 042-362-8647
ホームページアドレス
<https://library.city.fuchu.tokyo.jp>



【問合せ】中央図書館ハンディキャップサービス担当

TEL 042-362-8647

URL <https://library.city.fuchu.tokyo.jp/service/handicap.html>

特集

脈々と受け継がれる

万国博覧会の

歴史をひもとく

令和7年10月13日、184日間に渡って開催された「2025年大阪・関西万博」が幕を閉じました。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げ、世界各国が大阪・夢洲に集い、先端技術や文化、新たな社会のあり方を発信しました。

最終回となる第4回では、「2025年大阪・関西万博」を振り返り、その歩みを記録した書籍をご紹介します。

【 】内は請求記号です

『未完の万博』

浅子 佳英／著 藤村 龍至／著 ゲンロン 【606/ミ】

本書は「2025年大阪・関西万博」を、建築の側面からのぞいた一冊です。ふたつの座談会と、書き下ろしの論考・登壇後記が収録されています。

ひとつめの座談会のテーマは「万博建築はどんな未来を示せるか」。二人の建築家が、お互いにベスト万博建築をリストアップし、それぞれについて論じています。大屋根リングやパビリオンだけでなく、トイレに至るまで、建築家ならではの視点がとても興味深く感じられます。

ふたつめは「パビリオンの夢ー大阪・関西万博と未完のロシア館」と題された、ロシア建築等に造詣の深い二人による座談会です。ロシアに関連の深い中東欧と中央アジア諸国のパビリオンの紹介や、歴史の中でロシアがどのように万博と関わってきたかが語られています。ロシアは、今回の万博への参加を途中辞退しましたが、実はパビリオン設計を決めるためのコンペが行われており、6作品にまで絞り込まれていたとのこと。ここでは、その幻の作品も見ることができます。

建築紹介のみにとどまらず、過去から現代における万博の役割にまで迫る本書を手に、「万博建築」を見つめ直してみませんか？



『2025年大阪・関西万博 リングがつないだ世界 報道写真集』

読売新聞大阪本社／編集
読売新聞東京本社 【606/ニ】

「2025年大阪・関西万博」では、世界をつなぐ象徴となった「大屋根リング」の下に海外158の国・地域が集い、訪れる人々を出迎えてくれました。本書は、会場を巡った記者たちが心を動かされ、写真に収めたシーンから、えりすぐりをまとめたオールカラーの一冊です。

開会式・開幕日の様子から、ギネス記録も生まれた多彩なイベント、各国パビリオンの紹介、そして、酷暑や予期せぬ電車の運転見合わせ発生の夜まで…。実際に足を運んだ方はもちろん、来場できなかった方も、臨場感たっぷりに会場の熱気を味わうことができる写真集です。二度目の大阪開催となったこの万博を、ゆっくり振り返ってみませんか。



『大阪・関西万博公式ガイドブック 2025年日本国際博覧会』 2025年日本国際博覧会協会 【606/オ】

「2025年大阪・関西万博」の全体像と魅力を、一冊にまとめた公式ガイドブックです。コンセプトは「People's Living Lab(未来社会の実験場)」。会場全体が、未来の技術や社会のあり方を実際に試して体験できる場所として構想されました。この「実験」を彩ったのが、世界各国が趣向を凝らしたパビリオンの数々です。

注目の海外パビリオンは、「コネクティングゾーン(いのちをつなぐ)」「セービングゾーン(いのちを救う)」「エンパワーリングゾーン(いのちに力を与える)」という3つのゾーンに分かれており、本書では、各国の特色豊かな建築や展示内容が、美しい写真とともに解説されています。誌面を眺めるだけでも、世界の多様な文化と未来像を感じることができます。

また、国内パビリオンの紹介も充実しています。ホスト国としてのメッセージを伝える日本館や、各自治体の個性が光るパビリオンなど、17もの施設を地図で確認しながら読み進めることができ、まるで会場を巡っているような気分になれます。

世界最大級の木造建築「大屋根リング」をはじめ、五感で体験する最先端展示、未来の生態系への視点、感動を生んだライブイベントまで、万博の「見どころ」が凝縮された一冊です。ページをめくりながら、万博が示した未来へのメッセージに触れてみてはいかがでしょうか。

図書館では、公式ガイドブックのほかにも「2025年大阪・関西万博」を紹介したさまざまなガイドブックを所蔵しています。出版社ごとに視点が異なるので、ぜひ読み比べてみてください。

『大阪・関西万博びあ 完全攻略編』 ぴあ【606/オ】

『大阪・関西万博持ち歩きガイド』 宝島社【606/オ】

『るるぶ大阪・関西万博へ行こう!』 JTBパブリッシング【291/ル】



©Expo 2025 2025 大阪・関西万博公式ライセンス商品

おはなし会の 日程 4月~6月

ご案内

- ・予定は変更になる場合があります。図書館ホームページ等でご確認ください。
- ・事前の申込みは不要です。当日会場へお越しください。

〈おはなしの森〉

日程／

○中央図書館

①4~6月の毎週木曜日

※5月7日(木)は休館日のため、5月8日(金)に振り替えます。

②4~6月の毎月第1土曜日

4月4日・5月2日・6月6日(土)

○地区図書館

紅葉丘図書館

4月1日・5月13日・6月3日(水)

宮町図書館

4月8日・5月13日・6月3日(水)

武蔵台・新町・片町図書館

4月8日・5月13日・6月10日(水)

押立・四谷図書館

4月15日・5月20日・6月17日(水)

白糸台・西府・住吉・是政・生涯学習センター図書館

4月22日・5月27日・6月24日(水)

時間／

中央図書館①は、午後4時~4時半

中央図書館②は、午前11時~11時半

※地区図書館は、全て午後3時半~4時

対象／

3歳~小学生(保護者同伴可)

〈ちいさい子のおはなし会〉

日程／

○中央図書館

4~6月の第2・4木曜日

○地区図書館

地区図書館「おはなしの森」と同日

時間／

午前10時半~11時

対象／

0~2歳くらいまでの子どもと保護者

4月23日 子ども読書の日

4月23日(木)は、「子ども読書の日」です。

子どもにとって読書は、感性を磨き、表現力や創造力を豊かにするなど、生きる力を身に付けていくうえでとても大切なものです。

図書館では、子どもたちがたくさんの本と出会い、楽しく読書ができるように、様々な施設でキャンペーンを行います。

●絵本だいすきおはなしキャラバン●

▽日程・会場

○4月6日(月) 子ども家庭支援センター「たち」

○4月10日(金) 府中市美術館

○4月17日(金) 新町文化センター

○4月21日(火) 男女共同参画センター「フューラル」

○4月27日(月) 郷土の森総合体育館

○5月21日(木) 北山保育所

▽時間 午前10時半~11時

▽対象 0~2歳くらいまでの子どもと保護者

▽内容 絵本の読み聞かせと手遊び、わらべうた

▽定員 各回12組

▽語り手 おはなしボランティアグループ

「絵本だいすき」

▽主催 府中市子ども読書活動推進委員会

●おはなしいっぱいの日●

▽日時 4月19日(日)

午後1時半~2時半

▽会場 中央図書館3階おはなしのへや

▽対象 3歳以上(保護者同伴可)

▽内容 絵本の読み聞かせ、ストーリーテリング

(おはなしの語り)ほか

▽定員 先着45名

▽語り手 おはなしボランティアグループ

「おはなしのたね」ほか

●読書キャンペーン●

「たびたびよんで本のたび

~しゅっぱつしんこう!!」

▽日程 4月8日(水)から5月17日(日)

▽場所 中央・各地区図書館

▽内容 「のりもの」に関する本の展示と貸出

※期間中、「しゅっぱつしんこう!!」のパスポートを

中央・各地区図書館(中央図書館は午後6時まで)で

配布しています。テーマの本を1冊借りるごとに、パス

ポートに貼る「のりもの」シールを1枚差しあげます。

12枚シールを集めると、さらにごほうびシールをお

渡しします。